

2019年2月8日

2019年3月期 第3四半期 決算説明会（電話会議）

説明者 取締役副社長CFO 宮崎純一



Nissan Chemical
CORPORATION

**Institutional
Investor**
2018 - ALL-JAPAN EXECUTIVE TEAM

2018 3Q実績

(億円)

	2017実績			2018実績			増減			2018予想 (2018/11発表)
	上期	3Q	1-3Q 合計	上期	3Q	1-3Q 合計	上期	3Q	1-3Q 合計	3Q
売上高	910	417	1,327	980	439	過去最高 1,419	+70	+22	+92	429
営業利益	173	51	224	194	44	過去最高 238	+21	-7	+14	32
営業外損益	5	10	15	12	4	16	+7	-6	+1	5
経常利益	178	61	239	206	48	過去最高 254	+28	-13	+15	37
特別損益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
純利益 (1)	132	45	177	154	34	過去最高 188	+22	-11	+11	26
EBITDA (2)	220	78	298	244	73	317	+24	-5	+19	-
EPS (円/株)	87.40	30.28	117.68	103.53	23.11	126.64	+16.13	-7.17	+8.96	-
売上高営業利益率	19.0%	12.3%	16.9%	19.8%	10.1%	16.8%	+0.8%	-2.2%	-0.1%	7.5%
為替レート (円/ドル)	111	113	112	110	113	111				
ナフサ (円/kl) (3)	37,700	44,600	40,100	51,200	54,200	52,400				
包括利益	167	60	227	167	-13	154				

(1) 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す

(2) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

(3) 財務省貿易統計ベース

2018 3Q決算 ハイライト

1. 3Q実績

(1) 3Q単独

1)前年同期比

- ◆営業利益は、前年同期51億円に対し、44億円と7億円の減益となった
(ただし、2018年11月5日発表業績予想32億円に対しては、12億円上ぶれ)
- ◆機能性材料はディスプレイの好調を主因に増益
- ◆化学品はテピック減収・原燃料価格アップで減益
- ◆農業化学品はフルラネルの前年比出荷減(11月業績予想に織込み済み)があり減益
- ◆医薬品はファインテックの減収から減益

2) p18記載の2018年11月発表業績予想比




- ◆営業利益は、2018年11月発表業績予想32億円に対し、12億円上ぶれの44億円となった
- ◆化学品利益は下ぶれたが、機能性はディスプレイの好調を主因に上ぶれ
- ◆農業化学品・医薬も4Qからの前倒し出荷があり、上ぶれ










(2) 1-3Q累計

- ◆営業利益は、前年同期224億円に対し、238億円と14億円の増益となり、過去最高益更新
- ◆機能性は、ディスプレイ・半導体が牽引し増益
- ◆農業化学品は、フルラネルの増収が寄与し、増益
- ◆化学品は、価格上昇・数量増あったが、コストアップ、上期プラントトラブルもあり、減益
- ◆医薬品は、リバロは輸出は拡大したが国内は減収、
ファインテックは17年度の大型開発品がなく減収、により減益

2018 3Q決算 ハイライト

2. 4Qセグメント売上動向(対p17記載の2018年11月5日発表4Qセグメント売上高予想)

	現時点で上ぶれる可能性が大きいと推定
	現時点で下ぶれる可能性が大きいと推定
	現時点で予想通りの可能性が大きいと推定

		対2018年11月5日発表 4Qセグメント売上高予想	売上動向
化学	ファインケミカル		テピック一般は、中国市場の減速、アジア市況軟化により下ぶれの可能性が大きいと推定
	基礎化学品		メラミンは、中国市場の減速、アジア市況軟化により下ぶれの可能性が大きいと推定
機能	ディスプレイ		サンエパーは、スマホ市場の減速、台湾中華映管(CPT)民事再生法申請により下ぶれの可能性が大きいと推定
	半導体		ARC@・多層合計は、予想通りの可能性が大きいと推定
	無機		無機合計は、予想通りの可能性が大きいと推定
農化	農薬		3Qへの前倒し出荷の反動で、下ぶれの可能性が大きいと推定
	フルララネル		現時点で予想通りの可能性が大きいと推定
医薬	リバロ		3Qへの前倒し出荷の反動で、下ぶれの可能性が大きいと推定
	ファインテック		3Qへの前倒し出荷の反動で、下ぶれの可能性が大きいと推定

3. 通期業績予想 変更なし(p19参照)

2018 3Q実績

<前年比>

(売上高) ◆増収 +22億円 (+5.2%)

(増収) 化学、機能性材料、卸売

(減収) 農業化学、医薬

(営業利益) ◆減益 -7億円 (-13.8%)

(増益) 機能性材料、卸売

(減益) 化学、農業化学、医薬

(経常利益) ◆減益 -13億円 (-21.9%)

(純利益) ◆減益 -11億円 (-24.8%)

(EPS) ◆減少 -7.17円 (-23.7%)

<2018/11業績予想比>

(売上高) ◆上ぶれ +10億円

(上ぶれ) 機能性材料、農業化学、医薬、卸売

(下ぶれ) 化学

(営業利益) ◆上ぶれ +12億円

(上ぶれ) 機能性材料、農業化学、医薬、卸売

(下ぶれ) 化学

(経常利益) ◆上ぶれ +11億円

(純利益) ◆上ぶれ +8億円

2018 1-3Q実績

<前年比>

(売上高)	◆増収 +92億円	(+6.9%)	(増収) 化学、機能性材料、農業化学、卸売 (減収) 医薬
(営業利益)	◆増益 +14億円	(+6.4%)	(増益) 機能性材料、農業化学、卸売 (減益) 化学、医薬
(経常利益)	◆増益 +15億円	(+6.0%)	
(純利益)	◆増益 +11億円	(+6.2%)	
(EPS)	◆増加 +8.96円	(+7.6%)	

売上高、営業利益、経常利益、純利益は過去最高を更新

<株主還元>

- (配当) ◆中間40円、期末42円 (配当性向40.6%)
(前年比: 中間8円増配・期末6円増配、2018/11業績予想比: 変更なし)
- (自己株式取得) ◆50億円、976千株取得(2018年5月～6月)
◆40億円、900千株取得予定(2019年2月発表)
- (自己株式消却) ◆2百万株消却(2018年5月、8月)
- (総還元性向) ◆自己株式取得合計90億円と配当合計82円に基づけば70.5%

キャッシュフロー

(億円)

	2017 1-3Q実績	2018 1-3Q実績	2017年間 実績	2018年間予 (2018/11発表)
営業キャッシュ・フロー	343	324	377	352
税金等調整前当期純利益	239	254	362	401
減価償却費	74	79	105	111
法人税等の支払	-70	-92	-73	-97
運転資金増減他	100	83	-17	-63
投資キャッシュ・フロー	-120	-97	-152	-129
設備投資	-107	-74	-138	-123
投資有価証券購入・売却	-7	-5	-7	-5
その他	-6	-18	-7	-1
財務キャッシュ・フロー	-316	-372	-203	-223
配当	-91	-113	-91	-113
借入金増減額	-175	-208	-21	-20
自己株取得 (1)	-50	-50	-90	-90
その他	0	-1	-1	0
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	-1	-2	0
現金及び現金同等物の増減額	-92	-146	20	0
現金及び現金同等物の残高	265	231	377	377

(1) 2018年間予(2018/11発表)は、2019年2月発表の自己株取得予定40億円を含む

貸借対照表

	2017/12	2018/3 (A)	2018/12 (B)	増減 (B) - (A)
流動資産	1,234	1,456	1,263	-193
現金預金	265	377	231	-146
売上債権	472	654	482	-172
たな卸資産	447	378	489	+111
その他	50	47	61	+14
固定資産	1,012	1,004	953	-51
有形固定資産	544	545	539	-6
無形固定資産	17	18	16	-2
投資有価証券	394	385	346	-39
その他	57	56	52	-4
資産合計	2,246	2,460	2,216	-244

※税効果会計基準改正の影響等により、
2017/12、2018/3の貸借対照表は組み替え済み

(億円)

	2017/12	2018/3 (A)	2018/12 (B)	増減 (B) - (A)
負債	523	696	463	-233
買入債務	194	186	203	+17
借入金	133	286	79	-207
その他	196	224	181	-43
純資産	1,723	1,764	1,753	-11
株主資本	1,550	1,604	1,629	+25
その他有価証券 評価差額金	142	137	102	-35
為替換算 調整勘定	9	1	1	-0
非支配株主持分	18	18	17	-1
退職給付に係る 調整累計額	4	4	4	-0
負債・純資産 合計	2,246	2,460	2,216	-244

- ・自己資本比率 75.9% 71.0% 78.3%
- ・D/Eレシオ (1) -8.5% -5.7% -9.3%
- ・株主資本増減+25 = 純利益188 - 配当その他163

(1) D/Eレシオ = (借入金 - 現金預金) / 株主資本

2017-18 四半期別セグメント別売上高⁽¹⁾

(億円)

	2017実績				2018実績				2018予想 (2018/11発表)
	1Q	2Q	3Q	1-3Q 合計	1Q	2Q	3Q	1-3Q 合計	3Q
化学品	88	79	92	259	87	83	96	266	102
ファインケミカル	28	25	28	81	27	24	26	77	28
基礎化学品	60	54	64	178	60	59	70	189	74
機能性材料	141	150	151	442	156	164	166	486	158
農業化学品	146	115	64	325	164	123	59	346	57
医薬品	21	14	23	58	18	19	19	56	13
卸売	146	145	159	450	178	156	181	515	173
その他	54	43	46	143	46	59	72	177	54
調整額	-122	-110	-118	-350	-140	-133	-154	-427	-128
合計	474	436	417	1,327	509	471	439	1,419	429

(1) セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

2017-18 四半期別セグメント別営業利益

(億円)

	2017実績				2018実績				2018予想 (2018/11発表)
	1Q	2Q	3Q	1-3Q 合計	1Q	2Q	3Q	1-3Q 合計	3Q
化学品	15	-2	12	25	16	-4	10	22	14
機能性材料	36	41	40	117	39	42	43	124	35
農業化学品	45	36	-6	75	51	47	-13	85	-14
医薬品	5	0	6	11	3	3	4	10	1
卸売	4	5	5	14	6	5	6	17	5
その他	1	1	1	3	1	1	2	4	0
調整額	-6	-8	-7	-21	-9	-7	-8	-24	-9
合計	100	73	51	224	107	87	44	238	32

主要製品売上高成長率 2018 1-3Q

前年同期比・3Q計画(2018/11作成、非開示)比

< 化学品 >

		前年同期比		3Q計画 (非開示)比
		3Q	1-3Q	
フ ア イ ン	テピック	-5%	-6%	上ぶれ
	環境化学品	+6%	+7%	下ぶれ
基 礎 化 学 品	メラミン	+33%	+29%	下ぶれ
	尿素・ アドブルー	+4%	-1%	上ぶれ
	高純度硫酸	-1%	-3%	下ぶれ

< 機能性材料 >

		前年同期比		3Q計画 (非開示)比
		3Q	1-3Q	
デ ィ ス プ レ ィ	サンエバー 合計	+9%	+8%	上ぶれ
	その他ディスプレイ材料 合計 (1)	-12%	-7%	下ぶれ
	ディスプレイ材料合計	+9%	+8%	上ぶれ
半 導 体	KrF (ARC®)	-4%	-2%	上ぶれ
	ArF (ARC®)	+18%	+15%	上ぶれ
	小計	+12%	+10%	上ぶれ
	その他半導体材料合計 (2)	+45%	+44%	予想通り
	半導体材料合計	+19%	+17%	上ぶれ
無 機	スノーテックス	+1%	+2%	上ぶれ
	オルガノゾル・モノマーゾル	+12%	-3%	下ぶれ
	オイル & ガス材料	-44%	+4%	下ぶれ
	無機コロイド合計	-1%	+5%	下ぶれ






- (1) 有機EL用塗布型ホール注入材、位相差フィルム用配向材等
 (2) 多層材料 (OptiStack®)、EUV下層膜、CMOSイメージセンサー材料、
 三次元実装材等

*ARC®およびOptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標

主要製品売上高成長率 2018 1-3Q

前年同期比・3Q計画(2018/11作成、非開示)比





< 農業化学品(1) >

	前年同期比	3Q計画 (非開示)比
	1-3Q	
ラウンドアップ(2)	-11%	上ぶれ
フルララネル		下ぶれ
アルテア		下ぶれ
タルガ		上ぶれ
パーミット		上ぶれ
その他主要製品 (3)		下ぶれ
農業化学品 セグメント合計	+5%	上ぶれ

< 医薬品 >

	前年同期比		3Q計画 (非開示)比
	3Q	1-3Q	
リバロ	-6%	-0%	上ぶれ
ファインテック	-38%	-9%	上ぶれ

前年同期比売上高増減

+20~+29%	
+10~+19%	
+0~+9%	
-0~-9%	

(1) 値引前

(2) ラウンドアップマックスロードALは2017年度ラウンドアップ売上高全体の約17%を占める

(3) ライメイ、シリウス、パルサー(チフルザミド)、スターマイト、サンマイト

機能性材料セグメント収益動向

(億円)

	2017実績 (A)	2018実績 (B)	増減 (B) - (A)	増減率 (B) - (A)	2018予想 (18/11発表)	2017実績	2018実績
	3Q	3Q	3Q	3Q	3Q	1-3Q	1-3Q
売上高	151	166	+15	+11%	158	442	486
営業利益	40	43	+3	+8%	35	117	124

2018 3Q実績 <前年比>

2018 3Q実績 <2018/11業績予想比>

- ◆ サンエバー増収 (IPS・VA増収、TN減収)
- ◆ 半導体増収 (KrF減収、ArF・その他増収 (多層・EUV等新材料増収))
- ◆ 無機減収 (スノーテックス増収、オルガノゾル・モノマーゾル増収、
オイル&ガス材料減収)
- ◆ 固定費増加+8億円 (連結、R&D費用含む)
- ◆ 売上高+15億円、営業利益+3億円

- ◆ サンエバー売上高上ぶれ (IPS・VA上ぶれ、TN下ぶれ)
- ◆ 半導体売上高上ぶれ (KrF・ArF上ぶれ、その他予想通り (多層下ぶれ、
EUV等新材料上ぶれ))
- ◆ 無機売上高下ぶれ (スノーテックス上ぶれ、オルガノゾル・モノマーゾル
下ぶれ、オイル&ガス材料下ぶれ)
- ◆ 固定費上ぶれ2億円 (連結、R&D費用含む)
- ◆ 在庫変動影響+2億円 (プラス要因)
- ◆ 売上高+8億円、営業利益+8億円

(2018上期収益動向は、2018年11月5日付「2018年3月期 第2四半期 決算説明会」資料参照)

農業化学品セグメント収益動向

(億円)

	2017実績 (A)	2018実績 (B)	増減 (B) - (A)	増減率 (B) - (A)	2018予想 (18/11発表)	2017実績	2018実績
	3Q	3Q	3Q	3Q		3Q	1-3Q
売上高	64	59	-5	-6%	57	325	346
営業利益	-6	-13	-7	-	-14	75	85

2018 3Q実績

<前年比>

- ◆ 増収: グレーシア(輸出)、ライメイ(輸出)、ラウンドアップ、アルテア(国内)、パルサー(輸出)
- ◆ 減収: フルララネル、タルガ(輸出)、スターマイト(輸出)、シリウス(国内・輸出)、パーミット
- ◆ 固定費増加+4億円
- ◆ 売上高-5億円、営業利益-7億円

2018 3Q実績

<2018/11業績予想比>

- ◆ 売上高上ぶれ: グレーシア(輸出)、ライメイ(輸出)、パーミット(輸出)、ラウンドアップ、タルガ(輸出)
- ◆ 売上高下ぶれ: フルララネル、アルテア(国内)、パルサー(輸出)、シリウス(国内)、サンマイト(輸出)、スターマイト(輸出)
- ◆ ラウンドアップを除く各製品の売上高上ぶれは主に4Qからの前倒し
- ◆ 売上高+2億円、営業利益+1億円

(2018上期収益動向は、2018年11月5日付「2018年3月期 第2四半期 決算説明会」資料参照)

医薬品セグメント収益動向

(億円)

	2017実績 (A)	2018実績 (B)	増減 (B) - (A)	増減率 (B) - (A)	2018予想 (18/11発表)	2017実績	2018実績
	3Q	3Q	3Q	3Q	3Q	1-3Q	1-3Q
売上高	23	19	-4	-21%	13	58	56
営業利益	6	4	-2	-25%	1	11	10

2018 3Q実績

<前年比>

- ◆ リバロ減収(国内減収、輸出増収)
- ◆ ファインテック減収(17年大型開発品あり)
- ◆ 在庫変動影響+2億円(プラス要因)
- ◆ 売上高-4億円、営業利益-2億円

2018 3Q実績

<2018/11業績予想比>

- ◆ リバロ売上高上ぶれ(国内下ぶれ、輸出上ぶれ)
- ◆ ファインテック売上高上ぶれ
- ◆ リバロ輸出、ファインテックの売上高上ぶれは4Qからの前倒し
- ◆ 売上高+6億円、営業利益+3億円

(2018上期収益動向は、2018年11月5日付「2018年3月期 第2四半期 決算説明会」資料参照)

2015-18 3Q 四半期別セグメント別売上高⁽¹⁾

(億円)

	2015実績					2016実績					2017実績					2018実績			2018予想 (2018/11発表)	
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	3Q	4Q
化学	87	80	90	86	343	85	80	91	92	348	88	79	92	90	349	87	83	96	102	106
フィン	30	25	25	26	106	28	25	27	27	107	28	25	28	25	106	27	24	26	28	34
基礎	57	55	65	60	237	57	55	64	65	241	60	54	64	65	243	60	59	70	74	72
機能	130	130	136	122	518	126	129	138	135	528	141	150	151	146	588	156	164	166	158	160
農化	136	75	50	214	475	145	95	42	238	520	146	115	64	256	581	164	123	59	57	282
医薬	21	16	35	15	87	22	15	24	19	80	21	14	23	17	75	18	19	19	13	20
卸売	147	128	149	132	556	144	132	137	139	552	146	145	159	145	595	178	156	181	173	156
他	41	48	47	73	209	40	46	58	96	240	54	43	46	72	215	46	59	72	54	66
調整	-110	-92	-110	-107	-419	-111	-103	-114	-137	-465	-122	-110	-118	-119	-469	-140	-133	-154	-128	-144
合計	452	385	397	535	1,769	451	394	376	582	1,803	474	436	417	607	1,934	509	471	439	429	646

(1)セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

2015-18 3Q 四半期別セグメント別営業利益

(億円)

	2015実績					2016実績					2017実績					2018実績			2018予想 (2018/11発表)	
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	3Q	4Q
化学	15	-1	12	13	39	15	-2	13	12	38	15	-2	12	9	34	16	-4	10	14	13
機能	34	29	36	21	120	30	32	38	25	125	36	41	40	25	142	39	42	43	35	37
農化	44	18	-13	59	108	45	24	-20	83	132	45	36	-6	89	164	51	47	-13	-14	100
医薬	4	2	16	-2	20	6	0	8	3	17	5	0	6	1	12	3	3	4	1	5
卸売	5	4	5	4	18	4	4	5	4	17	4	5	5	4	18	6	5	6	5	5
他	0	0	0	5	5	0	0	2	8	10	1	1	1	3	6	1	1	2	0	4
調整	-8	-3	-7	-6	-24	-5	-6	-6	-8	-25	-6	-8	-7	-5	-26	-9	-7	-8	-9	-9
合計	94	49	49	94	286	95	52	40	127	314	100	73	51	126	350	107	87	44	32	155

2018年間予想(2018年11月発表より変更なし)

(億円)

	2017実績					2018予想 (2018/11発表)					増減			増減率
	上	(3Q)	(4Q)	下	計	上実	(3Q)	(4Q)	下	計	上実	下	計	計
売上高	910	417	607	1,024	1,934	980	429	646	1,075	過去最高 2,055	+70	+51	+121	+6%
営業利益	173	51	126	177	350	194	32	155	187	過去最高 381	+21	+10	+31	+9%
営業外損益	5	10	-3	7	12	12	5	3	8	20	+7	+1	+8	-
経常利益	178	61	123	184	362	206	37	158	195	過去最高 401	+28	+11	+39	+11%
特別損益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
純利益(1)	132	45	94	139	271	154	26	120	146	過去最高 300	+22	+7	+29	+11%
EBITDA(2)	220	78	157	235	455	244	-	-	248	492	+24	+13	+37	+8%
EPS(円/株)(3)	87.40	30.28	62.62	92.90	180.30	103.53	-	-	98.39	201.92	+16.13	+5.49	+21.62	+12%
配当(円/株)	32	-	-	36	68	40	-	-	42	82	+8	+6	+14	
配当総額(3)	48	-	-	54	102	59	-	-	62	121	+11	+8	+19	
売上高営業利益率	19.0%	12.3%	20.7%	17.3%	18.1%	19.8%	7.5%	24.0%	17.4%	18.5%	+0.8%	+0.1%	+0.4%	
ROE(3)	-	-	-	-	16.1%	-	-	-	-	16.9%			+0.8%	
為替レート(円/ドル)	111	-	-	111		110	-	-	110					
ナフサ(円/kl)	37,700	-	-	46,200		51,200	-	-	52,400					
包括利益	167	60	81	141	308	167								

(1) 純利益は、親会社株主に帰属する純利益を指す

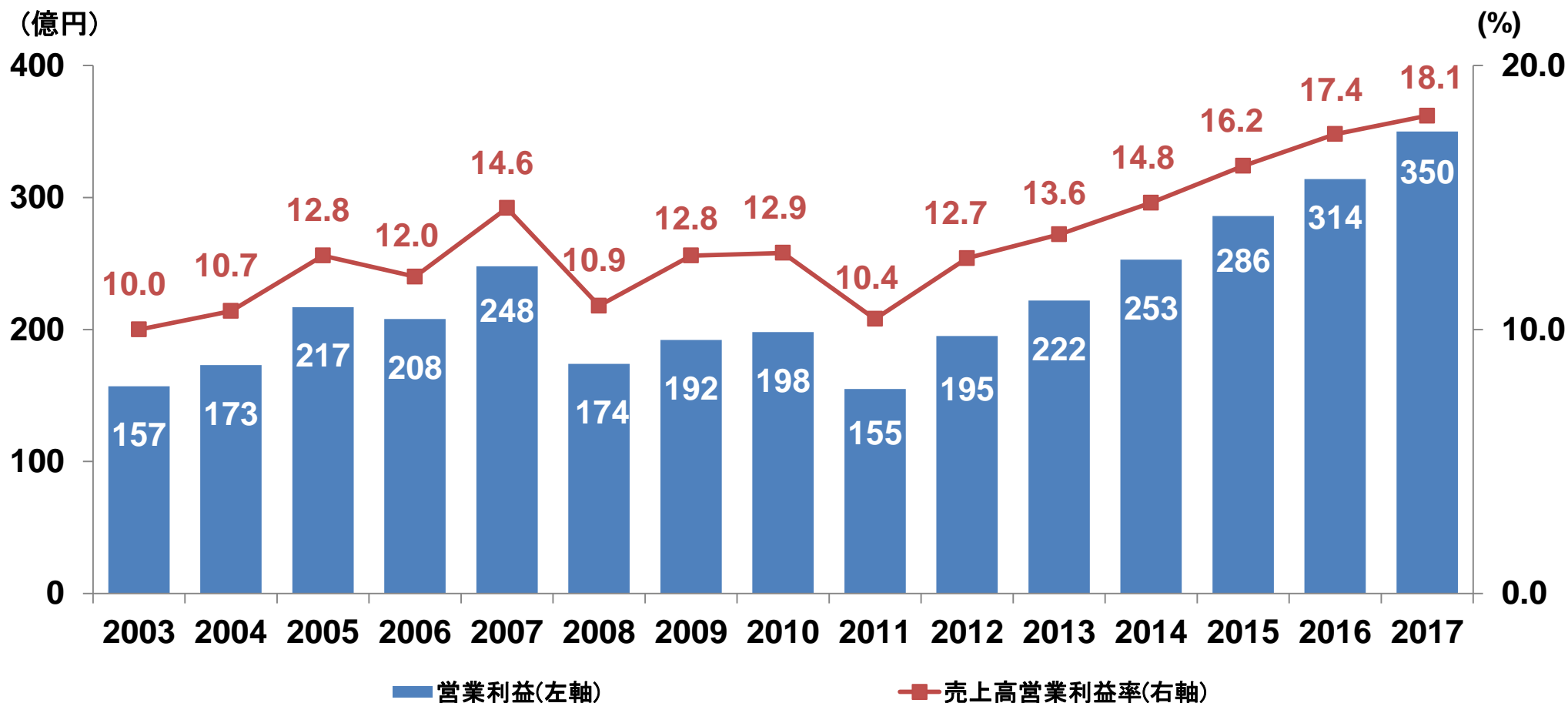
(2) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

(3) 2018予想は、自己株取得(2018年6月取得完了)50億円、自己株取得予定(2019年2月発表)40億円の影響を含む

(白紙)

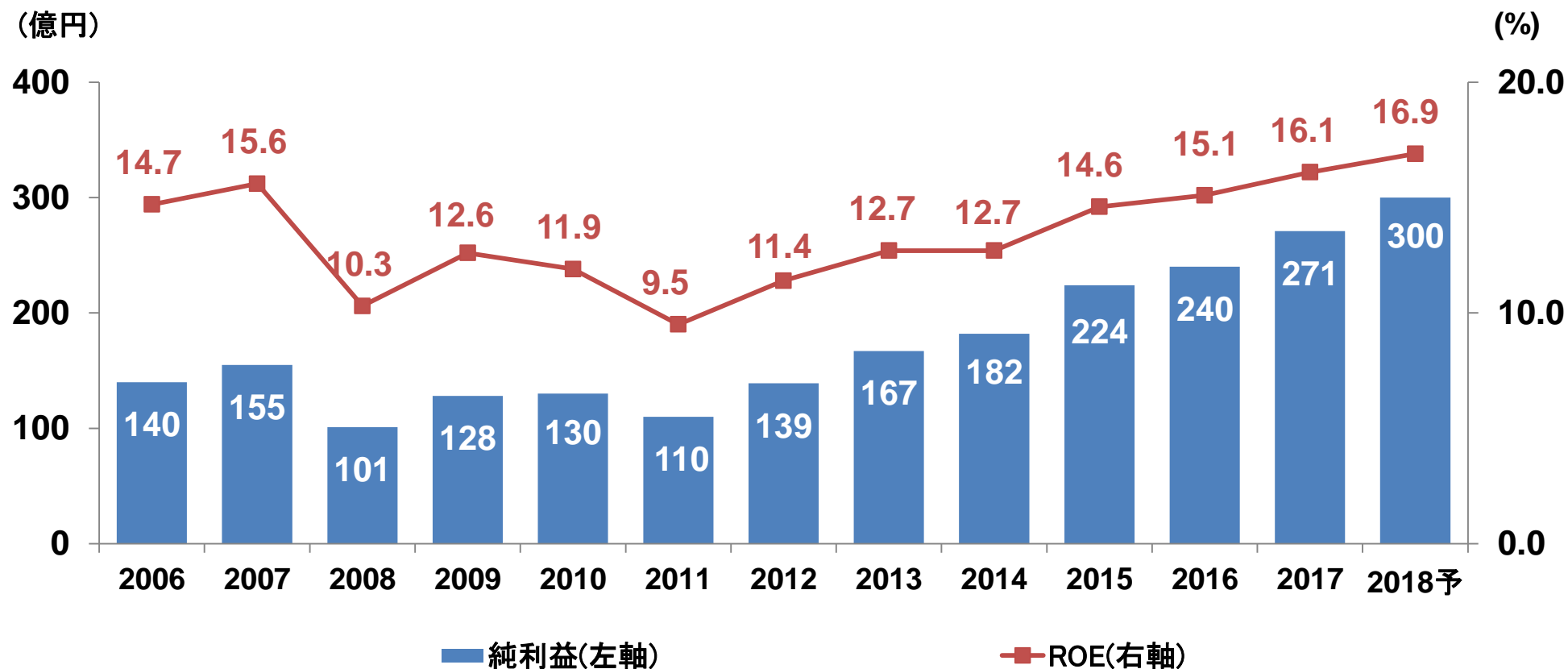
当社の特徴- (A) 売上高営業利益率

- ◆ 長期にわたり安定的かつ高い売上高営業利益率を維持
(2003年度以降15年連続10%以上)



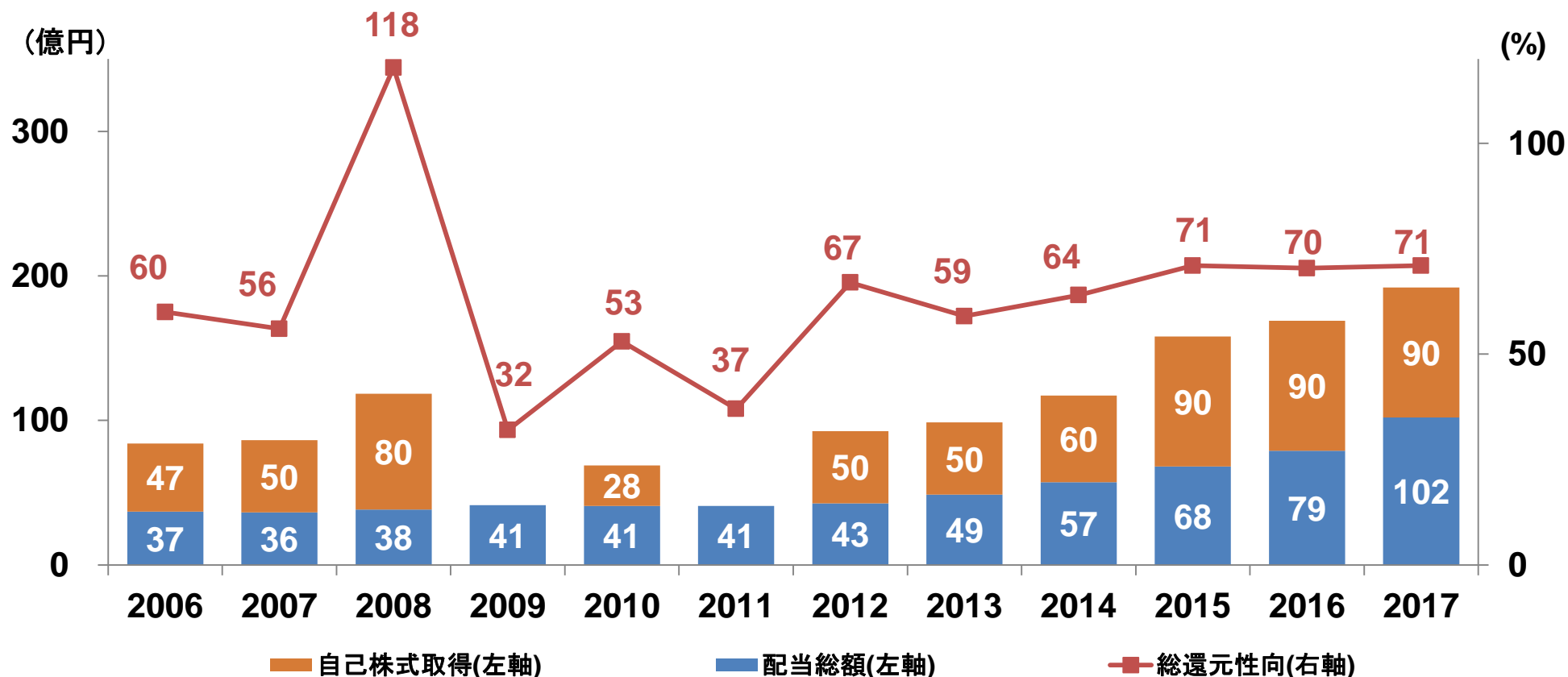
当社の特徴- (B) ROE

- ◆ ROEを従前より最重要の経営指標とし、高水準を維持
- ◆ 2016年度以降は14%以上維持を目標とし、2016、2017年度は達成



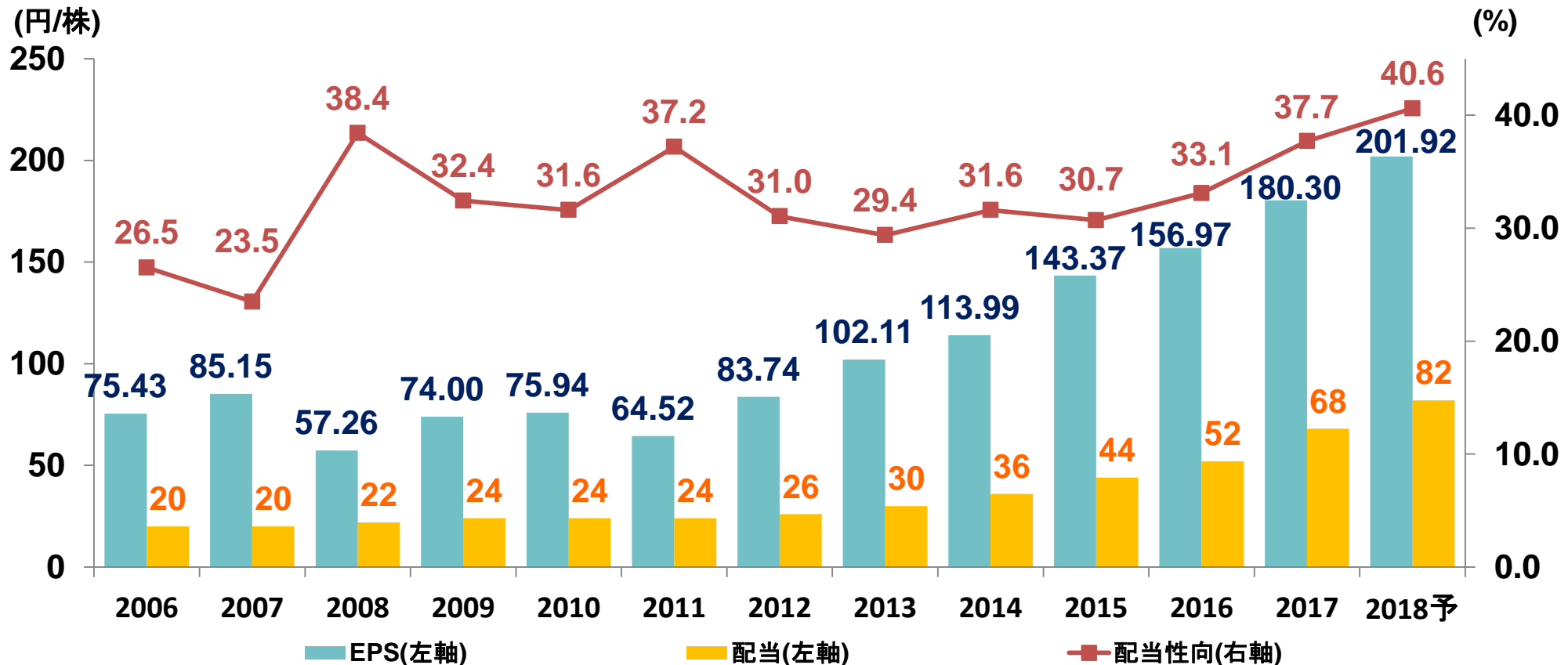
当社の特徴- (C)株主還元 (総還元性向)

- ◆ 配当と自己株式取得による株主の皆さまへの積極的な利益還元の結果、近年は60%-70%で推移
- ◆ 2016年度以降は、総還元性向70%維持を目標とし、2016、2017年度は達成



当社の特徴- (D)株主還元 (配当性向)

- ◆ 近年は30%を目標として配当してきた
- ◆ 2015年度30%から段階的に引き上げ、2016年度実績33.1%、2017年度実績37.7%、2018年度以降は40%を目標とする



当社の特徴－(E)株主還元(自己株式取得)

- ◆ ROE向上を目的に2006年度より開始
- ◆ 2006-17年度取得総額635億円、3,706万株(取得開始前発行済株式の19.8%)
- ◆ 2006-17年度取得株はすべて消却済

2006-17年度 自己株式取得実績

(1) 単位未満株式買取を除く (2) 単位未満株式を含む

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	合計
自己株式取得総数(千株)(1)	3,500	3,399	7,355	0	2,167	0	6,372	3,263	2,764	3,333	2,621	2,292	37,066
取得価額総額(億円)(1)	47	50	80	0	28	0	50	50	60	90	90	90	635
自己株式消却総数(千株)	3,000	3,635	7,000	0	3,000	0	6,000	4,000	3,000	2,000	2,000	3,000	36,635
発行済株式総数(百万株)	185	181	174	174	171	171	165	161	158	156	154	151	
期末自己株式数(千株)(2)	1,367	1,233	1,660	1,709	885	886	1,258	522	287	1,621	2,242	1,535	
株主総還元性向 (配当+自己株式取得)(%)	60	56	118	32	53	37	67	59	64	71	70	71	

◆ 2018年度 取得

	1回目(完了)	2回目(実施中)
取得株数	976千株	900千株(上限)
取得総額	50億円	40億円(上限)
取得期間	2018年5月14日～6月8日	2019年2月12日～

◆ 2018年度 消却

消却時期:2018年5月8日
消却時期:2018年8月31日

消却株数:1,000千株
消却株数:1,000千株

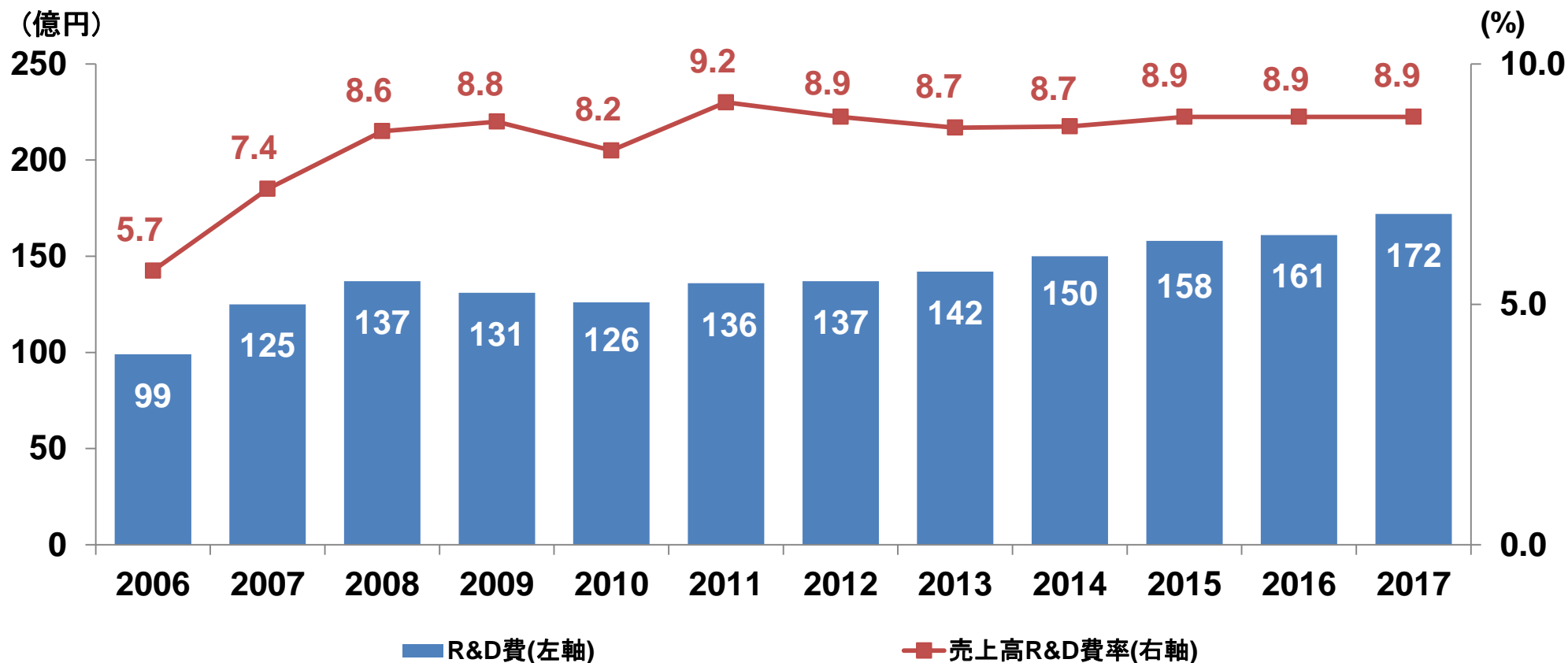
◆ キャッシュマネジメント(単体ベース)

目標現預金残高水準

= 必要下限額 + 流動性リスク対応[$1/3 \times (\text{長期借入金年間返済予定額} + \text{短期借入残})$]
+ 偶発リスク対応

当社の特徴- (F-1)研究開発

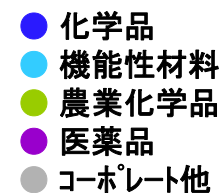
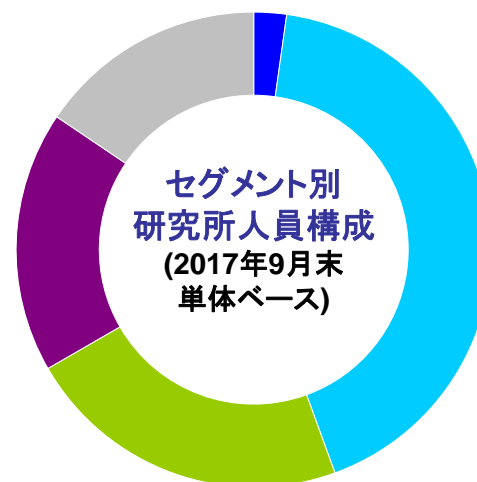
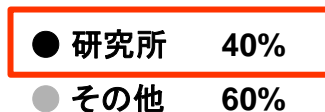
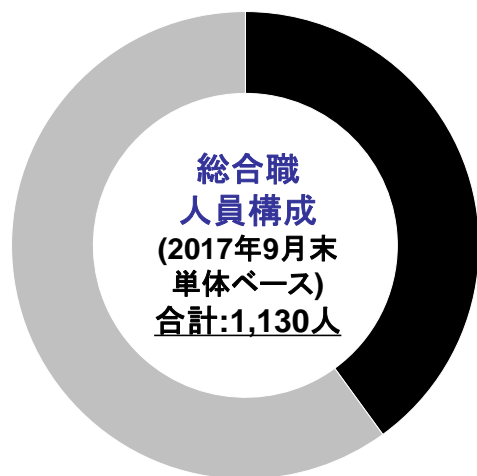
- ◆ 独自の革新的技術で社会の要請に応える未来創造企業
- ◆ R&Dを重視し、売上高R&D費率は8-9%と高水準を維持
- ◆ 総合職の約40%はR&D要員



当社の特徴- (F-2)研究開発

◆セグメント別研究開発費

セグメント	2017年度実績				
	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	売上高 営業利益率(%)	R&D費 (億円)	売上高 R&D費率(%)
化学品	349	34	9.7%	6	1.7%
機能性材料	588	142	24.1%	81	13.8%
農業化学品	581	164	28.2%	43	7.4%
医薬品	75	12	16.0%	25	33.3%
コーポレート他	-	-	-	17	-
その他共合計	1,934	350	18.1%	172	8.9%



免責事項

本資料に記載されている将来の当社事業に関する見通しは、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な不確実要素により、実際の業績は予測と大きく異なる結果になる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。



Nissan Chemical
CORPORATION